

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

世代間衡平性・持続可能性・社会安全性等の倫理的観点を考慮した政策設計のための実践的研究

研究テーマ名

親族内承継か第三者によるM&Aか？：沖縄におけるファミリー企業の実地調査

責任機関

学校法人 愛知大学

研究実施期間

平成30年10月～2021年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	打田委千弘	愛知大学・経済学部・教授
グループリーダー	竹田陽介	上智大学・経済学部・教授
グループリーダー	渋谷博幸	豊橋技術科学大学・工学系研究科・准教授
グループリーダー	小巻泰之	大阪経済大学・経済学部・教授
分担者	上山仁恵	名古屋学院大学・経済学部・准教授
分担者	島袋伊津子	沖縄国際大学・経済学部・教授
分担者	石田三成	琉球大学・国際地域創造学部・准教授
分担者（実務者）	當山修治	那覇商工会議所・専門経営指導員

配分（予定）額

（単位：円）

平成30年度	平成31年度 （2019年度）	2020年度	2021年度
4,342,000円	3,701,100円	3,701,100円	1,651,000円

※平成31年度（2019年度）・2020年度・2021年度については予定額

研究目的の概要

本研究は、地縁・血縁に基づく拡大家族が社会的なアイデンティティを形成している沖縄において、事業承継の問題に取り組んできた那覇商工会議所の担当者と連携しながら、ファミリー企業の事業承継について調査する。安定した親族内承継のために、親と子に求められ

る倫理的な関係は何か。第三者による事業承継を可能にする条件とは何か。これらの問いについて、世代間の互惠性という倫理的観点を含む理論モデルに基づきながら、アンケート調査を実施し、安定した事業承継のための政策的指針となる「沖縄モデル」を提示することを目的とする。実務者の経験を活かしたアンケート調査を行うことにより、経営者の事業承継への気付きの一助となることが期待され、沖縄のみならずわが国の地域経済におけるファミリー企業の事業承継のための政策立案に寄与する意義を有する。

研究計画の概要

本研究では、以下の3つの問いを設定し、これらの問いに対する解答をもとめて理論的・実証的な分析を行う。問い①：親から子への名目権限の委譲は、どのような条件の下で安定した事業承継となるか。問い②：第三者による事業承継において、後継者が信頼されるための社会的な条件は何か。問い③：親族内承継の企業は、第三者承継の企業と比べて業績において劣るか。